

シンポジウムに関するお問い合わせ

広浜鉄道今福線を活かすシンポジウム
実行委員会事務局 (浜田市観光交流課内)

〒697-8501 島根県浜田市殿町1番地
☎0855-25-9531 FAX 0855-23-4040

宿泊の斡旋に関するお問い合わせ

石王観光株式会社

〒697-0054 島根県浜田市高田町56番地
☎0855-22-2222 FAX 0855-22-7168
※下記に申込書とご案内を記載しております。

シンポジウム会場「島根県立大学」へのアクセス

会場 公立大学法人 島根県立大学
浜田キャンパス コンベンションホール
〒697-0016 島根県浜田市野原町2433-2
☎0855-24-2200



- 鉄道の場合 JR山陰本線 JR浜田駅で下車
- バスの場合 東京・大阪・広島→JR浜田駅
- 飛行機の場合 羽田空港→萩・石見空港→(路線バス)→JR益田駅(JR)→JR浜田駅
- お車の場合 浜田自動車道「浜田IC」より約15分
- 浜田駅から県立大学までのアクセス
路線バス：石見交通大学線(約15分)
送迎バス：11時30分～13時の間、約30分間隔で運行します。

《切り取り線》

宿泊申込書

申込締切/平成27年7月10日(金)必着

希望宿泊区分 (A・B・C)			ふりがな	性別	電話
第1希望	第2希望	第3希望	氏名	男・女	FAX
			住所		メール

《切り取り線》

●宿泊斡旋のご案内

- ①宿泊斡旋日及び条件
平成27年8月8日(土)〈シングルルーム/1泊朝食付〉
- ②宿泊料金 及び 区分(税・サービス料込み)
【A】8,300円 【B】7,300円 【C】6,300円
※宿泊斡旋料金 300円を含みます。 ※駐車料金は別途必要となります。
- ③申し込み方法
上記の申込書に必要事項及び宿泊区分(第1希望から第3希望まで)をご記入の上、ファックス又はメールにてお申込みください。お申込み順に配宿いたします。
- ④申込締切日/平成27年7月10日(金)
申込書到着後、受付確認(ファックス又はメール)を返信いたします。
- ⑤予約確認
平成27年7月13日(月)に宿泊先決定通知兼請求書を、ファックス又はメールいたします。
- ⑥お支払い/7月17日(金)までにお振込みください。
入金確認後、正式予約となります。
※入金確認ができない場合、予約が取り消される場合があります。
※振込手数料はお客様でご負担ください。

- ⑦申し込み後の変更・取消について
お申込み後の変更、取消はファックス又はメールにてご連絡をお願いします。お電話での変更・取消はできません。
- ⑧取消料
お客様のご都合で取消される場合は、下記の取消料を申し受けます。
●お申し込み後、7月18日(土)まで… 300円(宿泊斡旋料金)
●7月19日(日)以降… 300円 + 宿泊料金の10%
●7月29日(水)以降… 300円 + 宿泊料金の20%
●8月1日(土)以降… 300円 + 宿泊料金の30%
●8月5日(水)以降… 300円 + 宿泊料金の50%
●8月7日(金)以降… 300円 + 宿泊料金の80%
●当日… 300円 + 宿泊料金全額

●申込先
石王観光(株)(せきおうかんこう)
☎0855-22-2222 FAX:0855-22-7168
E-mail: sekiwo-tourist@theia.ocn.ne.jp
担当者: 永井 敏雄
振込先銀行名 | 山陰合同銀行 (支店名) 浜田支店(043)
口座番号: 3766651
口座名義: セキオウカンコウ(カ)



主催/広浜鉄道今福線を活かすシンポジウム実行委員会
共催/島根県技術士会、島根県立大学
後援/島根県、浜田市、西日本旅客鉄道株式会社、浜田商工会議所
(二社)浜田市観光協会

日時/平成27年8月8日(土)・9日(日)
会場/島根県立大学
浜田キャンパス コンベンションホール

今に復活
幻の鉄道遺産

浜田市合併10周年
記念事業
広浜鉄道
今福線を
活かす
シンポジウム

幻
の
鉄
道
遺
産
今
に
復
活

鉄道ファン×観光×土木技術×地域、4つの視点から考える

広浜鉄道今福線

広浜鉄道今福線は、広島と浜田を結ぶ広浜鉄道の島根県側のルートとして昭和8年（1933年）に建設が開始されました。その後、戦前戦後の2度にわたり建設工事が中止され、ついに列車が走ることのなかった鉄道遺産として、数十年の時をひっそりと刻んできました。

この広浜鉄道今福線に再び光をあて、地域活性化や観光コース化を図るための様々な活用策を考えることを目的に、シンポジウムを開催します。

シンポジウムを契機に広浜鉄道今福線の価値を発信し、皆様と一緒に広浜鉄道今福線の活用を考えていきます。



おろちき橋 工事現場

8/8 SAT シンポジウム〈1日目〉 Schedule of Symposium

■定員：200名(先着順)

13:00	開場・受付
13:30	開会
13:45～14:25	基調講演 「未完に終わった鉄道計画 今福線・広浜鉄道の歩みとその意義」 ●講演者/鉄道ライター 森口 誠之 氏
14:30～15:10	基調講演 「地域資源を活用した新しい産業観光スタイル」 ●講演者/産業観光コーディネーター 赤澤 雅弘 氏
15:10～15:25	休憩
15:25～17:00	パネルディスカッション 「鉄道ファン×観光×土木技術×地域、 4つの視点から考える」 ●コーディネーター 島根県立大学 准教授 西藤 真一 氏 ●話題提供者 兼 パネラー 鉄道遺産/鉄道ライター 森口 誠之 氏 観光/産業観光コーディネーター 赤澤 雅弘 氏 土木技術/島根県技術士会 今福線研究分科会 和田 浩 氏 地元自治会/佐野自治会 石本 恒夫 氏 郷土史/ふるさと歴史紀行の会 代表 下村 明雄 氏
18:00～20:00	懇親会 会場/浜田ニューキャッスルホテル 石見神楽の上演を行います 演目:「恵比須」「大蛇」 ●会費/5,000円 ●定員/100名(先着順) ※県立大学から懇親会会場まで送迎があります。(無料) ※宿泊の斡旋をしています。



●講演者兼パネラー
鉄道ライター
森口 誠之 [もりぐち・まさゆき]
1972年、奈良県生まれ。大阪市立大学大学院経営学研究科前期博士課程修了。その後、鉄道史の研究や、国内外の鉄道乗り歩きながら、著作活動も行う。主な著書に、今福線など未完成の鉄道線を歩いた「鉄道未完成線を歩く(国鉄編)」、「鉄道未完成線を歩く(私鉄編)」、「JTB」共著に「鉄道廃線跡を歩く」、「保存鉄道に乗りこえ」中国地方の鉄道探見一鉄道の歴史とその魅力」など。



産業観光コーディネーター
赤澤 雅弘 [あかざわ・まさひろ]
1957年岡山県倉敷市玉島生まれ。大学卒業後、大手ソーズメーカーの宣伝担当として3年勤務の後、1983年コピーライターとプランナーとして独立。観光・地域振興分野を中心に企画・制作活動を行う。「観光資源は何もない」と言われていた自数市玉島地区をなんとかしたいの思いから、手つかずのまま残っていた町並みで営まれる地場の商工業を玉島独自の地域資源として発信。



●コーディネーター
西藤 真一 [さいとう・しんいち]
1977年生まれ。関西学院大学経済学部卒業。関西学院大学大学院経営学研究科博士課程後期課程満期退学。
2006年より財団法人運輸調査期研究員、副主任研究員を経て、2010年より島根県立大学総合政策学部講師、のち准教授(現職)。
研究分野は交通政策、公益事業論。



パネラー
和田 浩 [わだ・ひろし]
1958年島根県浜田市生まれ。千葉工業大学卒業後、総合建設コンサルタント株式会社ウエスコに入社。現在、浜田支店勤務。2002年度より島根県技術士会所属。本会では地域振興を目的とした活動に携わり、2010年より「今福線研究分科会」の一員として今福線の遺構調査やそれを活かす方策について研究活動を行っている。佐野町のコンクリートアーチ橋に「おろちき橋」と命名した。



パネラー
石本 恒夫 [いしもと・つねお]
1928年生まれ。小学校教員を定年退職後、保育園長を務め、子供の教育に尽力する。
小学生の時、今福線の工事が始まり、今福線には深い関心を持っていた。特に鉄道に関する書籍に接して感動し、現地調査をすすめるなどして案内人の活動をするようになった。また地域の自治会と高齢者クラブが指定した名所遺跡の案内人も務めている。



パネラー
下村 明雄 [しもむら・あきお]
横浜で就職し、現在は浜田市に帰郷。平成10年に浜田市文化財愛護会の藤原氏と知り合い広浜鉄道のことを調べ始め、平成13年に藤原氏とともに浜田市周辺の歴史文化を学ぶ散策会「ふるさと歴史紀行の会」を立ち上げ代表を務めている。現在まで約160回実施し、広浜鉄道をテーマにしたものも実施した。平成21年に島根県文化財愛護協会より表彰を受ける。

8/9 SUN エクスカーション〈2日目〉 Excursion

エクスカーションは、地元案内人が点在する鉄道遺構をご案内します。JR浜田駅で山陰本線に乗車して次の下府駅で下車し、下府橋梁跡まで歩きます。以後、バスで順次遺構を巡り、昼食を挟んで最大の見所である佐野地区を歩いて見学します。幻の鉄道遺産の魅力を体感し、新しい観光資源の可能性と一緒に考えてみてください。

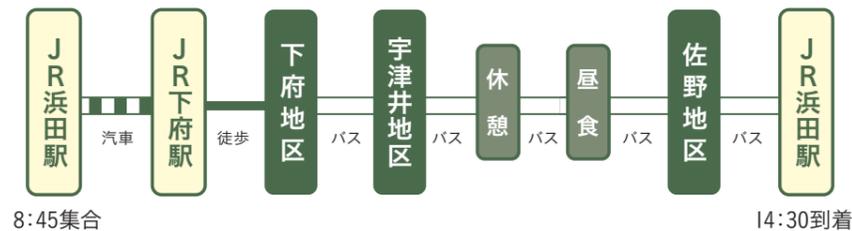
■定員：75名(先着順)

■会費：1,000円(昼食代、JR乗車賃)

〈注意事項〉

- 途中、2km程度歩きます。歩きやすい服装・靴でご参加ください。
- ご自身の体力や体調を考慮してご参加ください。
- 服装は速乾性で通気性のよいものにし、帽子を着用するなどして熱中症にご注意ください。
- 飲み物は各自でご準備ください。

●エクスカーション・コース案内



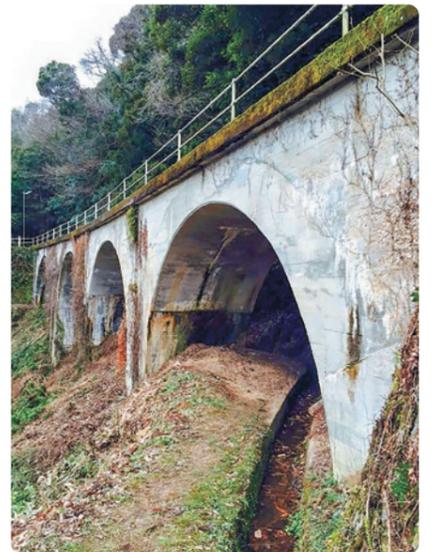
今福第一トンネル



新線旧線交差4連アーチ橋



4連アーチ橋(土木学会選奨土木遺産)



おろちき橋

広浜鉄道今福線を活かすシンポジウム 参加申込書 申込締切/平成27年7月10日(金)必着

ファックスでのお申し込み
FAX 0855・23・4040

専用ホームページからのお申し込み
今福線シンポ 申し込み 検索

参加を希望されるプログラムの該当欄に○印をご記入ください。(先着順)

- お申し込み後、事務局より受付完了のお知らせをしますので、ご連絡先の明記をお願いします。
- ご宿泊のお申し込みは、裏面をご覧ください。

8月8日(土)	シンポジウム 定員200名〈無料〉	
	懇親会 定員100名〈5,000円〉	
8月9日(日)	エクスカーション 定員75名〈1,000円〉	

ふりがな	電話
氏名	FAX
	メール
住所	〒
所属・事業所	